

事務事業名		環境技術開発センター運営事業				会計		一般会計		事業種別		政策		開始		14		終了			
課等名		工業課		係等名		工業振興係															
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり																	
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり																	
目的	対象(誰・何を)	起業、研究開発に取り組む意欲のある者。飯田市環境技術開発センター入居企業。入居企業の研究開発担当																			
	意図(どういう状態にするか)	新しい研究開発の技術、技能を身につける。入居企業同士が交流し、技術を高め合う。企業の担っている技術をさらに高める。																			
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)																			
				対象指標		指標名及び単位						24年度数値									
						・入居企業数						4									
						・入居企業の研究者・技術者数						14									
目標	種別	指標名及び単位										24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	・新規創業者数										2	0	1	2						
	成果指標	・新製品、新事業数										3	5	3	3						
	定性目標																				
事業概要	環境技術開発センター施設を活用し、起業や研究開発を支援する支援担当者を中心に大学、研究機関、南信州・飯田産業センターや工業技術センター等の連携を図り、入居者や地域の企業との研究開発、共同研究を支援する。																				
事業内容												名称				活動指標					
24年度事業内容	1 新規入居者の募集・PR活動の実施 (1)過去10年間の実績及び評価分析 (2)地域内関連機関とのヒアリング 2 インキュベーター委員会の開催と相談・支援の実施 3 工業技術センターを核とした技術、解析、分析等の有機的支援 4 県外インキュベーションセンター及び大学に入居している企業に対してベンチャー企業・研究開発型企業の誘致 5 起業者、入居企業による成果発表会の実施 6 金融政策室との連携による新分野進出、起業支援											1 地域内関係機関ヒアリング回数				1 19回					
												2 委員会開催数				2 1回					
												3 支援・イベント開催回数				3 9回					
												4 県外研究施設訪問箇所数				4 6か所					
事業コスト		23年度決算額		24年度予算額		24年度決算額		25年度予算額		特定財源内訳、補足											
事業費計(千円)①		7,574		7,686		7,012		7,417													
国庫支出金																					
県支出金																					
起債																					
その他																					
一般財源		7,574		7,686		7,012		7,417													
人件費計(千円)②		1,254				609															
正規職員所要時間		50				50															
臨時職員所要時間		1,000				400															
総事業費①+②		8,828		7,686		7,621		7,417													
事業内容・目標達成状況の振り返り	過去10年間の振り返りを行い、さらにセンターの認知度をあげるため地域内の関連機関19か所を訪問し、創業支援に対する取り組み状況と施設のPR等含めてヒアリングを行った。当センターが関わっての新規創業者はなかったが、首都圏より1社誘致に成功した。また、入居企業による新製品・新事業の件数については目標以上の達成ができた。																				
改革改善の考え方	①問題点	地域内だけでなく、地域外からの入居を促進するために、積極的な情報発信が必要である。																			
	②改革提案	当地域の中小企業支援体制の充実を強みとして、インキュベーションマネージャーによる研究開発型企業及びベンチャー企業の誘致活動を積極的に展開する。																			